

1	組織名称(略称)	Full Service Access Network (FSAN) http://www.fsan.org/						
2	分類	活動目的	◎	仕様策定	－	実装・検証	オープンソース	該当なし
			－	試験・認証	－	普及・啓発		
	－	その他()						
	技術MAP	対象技術分野	②通信技術(加入者系、宅内系関連)		対象サービス		サービスには該当なし	
		活動エリア	①固定系領域を中心に活動を実施		活動領域		②NW領域の活動を実施	
3	目的	FSANでは、主に光通信に用いるシステムや機器の経済性を向上させることを目的として電気通信事業者による自発的な団体であり、より低コストで開発できる機器の仕様の作成や標準化団体への提言などを行う。						
4	組織構成	Optical Access Network (OAN) Working Group Operation and Engineering Task Group Next Generation PON (NG-PON) Task Group						
5	参加資格費	<ul style="list-style-type: none"> Operators 26社(うち日系企業2社) Vendors 33社(うち日系企業6社) Observer/ITL(Independent Test Labs.) 7社(うち日系企業0社) 年会費など不明。						
6	主要メンバー (2018年7月現在) (注1)	主要メンバー: Operators AT&T, Bell Canada, BT, Centurylink, China Mobile, China Telecom, China Unicom, Chunghwa Telecom, Comcast, Cox, Deutsche Telecom, Du, ETISALAT, KDDI, Korea Telecom, NTT, Orange, Portugal Telecom, SaskTel, SK Telecom, Telecom Italia, Telefonica, Telekom Malaysia, Telus, Verizon, Vodafone うち日本企業: 2社 Operators: KDDI, NTT 会員数: 66 うち日系企業数: 8						
7	他団体・組織との関係	リエゾンなど HPIに下記へのリンクあり ・ITU-T Standardization ・Broadband Forum						
8	TTC活動との関連性 (注2)	TTCの専門委員会活動との関係(☑関係あり、□関係なし) 関係する場合の専門委員会名(右欄より選択) 理由:					⑩アクセス網	
9	活動状況	(発行ドキュメント・ソフト、会合開催状況など) HP上には新規のNews等の情報は掲載されていない。 News ・ Industry's first XGS-PON Plugfest extends PON interoperability December 15, 2016 ・ FSAN Releases New Roadmap for Fibre Access Standards December 9, 2016 Meetings ・ Week of 24 April 2017, Kobe, Japan ・ Week of 4 September 2017, Paris, France						

		Roadmap <ul style="list-style-type: none"> ・ FSAN Standards Roadmap 2.0 (released November 2016) ・ Technology Maturity Roadmap 1.0 (released July 2017) 		
10	設 立 時 期	1995年9月		
11	本 部 所 在 地	常設の本部は無し		
12	関 連 標 準 化 技 術	ITU-T SG15		
13	権 利 関 係 (IPR Policy, Bylaws な ど)	IPR Policy: 記載なし Bylaws: 記載なし		
14	備 考 (普 及 状 況 な ど)	規格に基づく製品の普及状況:不明		
15	更 新 履 歴	2018年7月27日	初版作成	担当:平岡(三菱電機)
		2018年8月28日	更新	オープンソース欄選択など

(注1) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注2) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。